The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	懐徳堂記事
Author(s)	
Citation	懐徳. 1936, 14, p. 86-86
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88966
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

懷德堂記事

▲記念祭典　昭和十年十月五日記念祭典を執行し、終つて文學博士新村出先生の『漢字漢語管見』と題する講演あり。（該速記は本誌に收む）

▲東久邇宮殿下　十二月十九日午前十一時十分軍事參議官東久邇宮殿下には南部御附武官を隨へさせられ御台臨、本堂事業に付小倉理事長、今井理事の御說明を御聽取後堂內御一巡、午前十一時五十分御退出遊ばされたり。

▲劉文典氏　北平淸華大學教授の同氏は昭和十一年四月十四日來堂二十六日まで滯留碩園文庫の楚辭に就て研究し、二十七日歸國せり。

▲碩園先生遺集　豫て印刷中なりし西村碩園先生遺集全五冊十月一日全く成る。

▲重建二十周年祝典　十月十日記念祭典執行後重建滿二十周年祝典を擧行、終つて文學博士狩野直喜、文學博士武內義雄兩先生の講演あり。

堂友會記事

幹事　酒井全太郎

▲昭和十年十月九日

本堂記念祭典に會員一同奉仕、會誌第十三號を頒布する。

▲十月二十九日

流石の豪雨雷鳴も午前八時頃になつて漸く小雨となる。大軌上六驛に集合、九時發、奈良終點にて中村直勝先生を迎へ古梅園製墨工場見學、春日神社々務所にて休憩、中村先生の講話を拜聽、春日神社、若宮神社に參拜、寶